

犬・猫の避妊・去勢手術率調査
手術の適齢期は生後 6 ヶ月から

適齢期に避妊・去勢手術を行っている犬・猫の割合

	犬	猫
男の子	14.4%	47.3%
女の子	15.3%	37.5%
全体	14.8%	42.9%

アニコム「どうぶつ健保」加入者の全データより、
加入時年齢1歳+更新時に1歳を迎えた犬 80,770 頭、
猫 6,501 頭を対象に調査(2007年8月31日現在)

1歳以上で避妊・去勢手術を行っている犬・猫の割合

	犬	猫
男の子	26.3%	51.4%
女の子	30.3%	55.9%
全体	28.1%	53.5%

アニコム「どうぶつ健保」加入者の全データより、
1歳以上の犬 246,588 頭、猫 24,328 頭を対象に調査
(2007年8月31日現在)

「どうぶつ健保」加入者を対象に、「犬・猫の避妊・去勢手術済の割合」を調べたところ、1歳以上の場合には、犬 28.1%、猫 53.5%というデータが得られた。一方、避妊・去勢手術の適齢期といわれている生後 6 ヶ月前頃に手術を済ませている割合は、犬は 14.8%で 1歳以上の約半分、また猫も約 10%下まわる結果になった。

避妊・去勢手術は、生殖器疾患の予防につながる。また、男の子の去勢手術には「攻撃性の低下(けんかの減少、しつけのしやすさ)」「マーキングの減少」「交配抑制によるストレスの減少」など、女の子の避妊手術には「生理・発情がなくなる」「望まない妊娠を防げる」などのメリットもある。

予防のためには避妊・去勢手術を勧められているが、その判断は家族にゆだねられている。わが子のために最良の選択ができるよう、しっかりと検討することが大切だといえるだろう。